

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月23日（13：30～13：45）

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 原・笠川・西尾と・森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	5人			2人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能の役割、サービスについて全員が再確認し、利用者、家族に安心して利用していただけるよう声掛けができるようにする。ミーティング時には、情報を共有するために、それぞれが意見できるような環境づくり、また、利用者には個別（担当）に対応し色々な情報を取り入れ支援につなげていく
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・職場会議で小規模多機能の役割について学習し再確認した。 ・利用者基本情報の活用ができている。（利用開始にそなえて支援内容や注意事項などの確認） ・送迎時に得た家族からの情報を職員間で共有し、職員のそれぞれの思いや意見を取り入れ支援につなげている。 ・利用者への声かけや気づかいには細心の注意をはらいながら支援できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	1		1	7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	5		2		7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	5	1	1		7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	5		1	1	7

できている点

- ・新たにきらめきを利用する方の情報をみんなで共有し、訪問や通いなどで気が付いたことはミーティングで他の職員に伝え共有している。利用者には不安がないよう声かけをしながら接している。
- ・送迎時のわずかな間でも家族の話を傾聴し伝達できている。利用者が慣れていない時期だけでなく認知症の方の不安にも常に寄り添い支援できている。
- ・利用者家族の声を傾聴し必要としている支援をしている。
- ・職員間で情報を共有しながらできるだけ個別対応ができるようにしている。
- ・利用者の情報などいろんな面をミーティングなどで情報を共有して意見など聞いています。(9月入協：新介護員)

できていない点

- ・個人的には家族からの思いがあまり聞けていない。送迎時のわずかな時間しか家族に会えないから。
- ・紹介を受けて期間を設けずサービスが導入されたとき本人の情報が不十分で利用前に共有できなかった。情報を提供してくれる人が誰もいなかった為利用しながらの聞き取りになった。(ケアマネージャー)
- ・急な利用者の方の情報が不足している。独居の高齢者に聞いても答えがかえってこない。
- ・まだ利用者の家族に会う機会がないので、これから送迎や訪問時に会うことができれば話を傾聴していきたいと思います。入社して一か月ぐらいなのでこれから少しずつ役割など理解していきます。
- ・経験が浅いため利用者の個々の状態を把握できていない。(9月入協：新介護員)

次回までの具体的な改善計画

- ・ケアマネージャーと介護員とでは利用者への初めの関わり方に違いがあるが、今まで通り情報として共有することは継続し利用を通して新たな情報を収集しながら支援につなげていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月26日（13：45～14：00）

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 森本・原・西尾と・東野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	4人	1人	人	2人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 日々変化する利用者の状態に合わせた目標や要望「～したい」事の情報、個別（担当ごと）に探り出し共有し利用者にあった支援を提供していく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 担当利用者のケアプラン変更時にはケアマネージャーを含め担当者が中心になって話し合いを進めている。その情報をもとにケアマネージャーが目標を立て、担当者がその目標に沿った短期目標をたて支援できている。日々の支援の中で気づいた事や出来る事、出来ない事などを記入し振り返り評価することで次の目標、支援とつなげている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	5			2	7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	4	1		2	7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	4	1		2	7
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	5			2	7

できている点

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・自分の担当利用者（他の利用者に対しても）についてはミーティングノートに記録し、どうしたら実現できるかをみんなで話し合いができています。短期目標記録にはフロア担当時には必ずその日の様子を目標に沿って記録している。・コロナの状況の中、利用者と会話をしながら季節に応じた「～したい」を実現できている。・利用者の状態の変化はミーティングで話し合いそれぞれにあった対応ができています。・ケアプランを見直す時に本人の目標などを確認し、それができているかどうかを話し合っています。 |
|---|

できていない点

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・「～したい」を全ての利用者に聞いていないと思う。・「～したい」をなかなかうまく表現することができない方もいるので聞き取りにくい。・重度の認知症の方の「～したい」の思いを代弁できていない。話の内容の理解が難しく、本人がなお不安になってしまう事もある。・経験が浅いため個々を把握できていない。・利用者より外出の要望があったがコロナ禍で外出があまりできなかった。施設内で色々工夫して利用者が楽しめることを提供するようにした。 |
|--|

次回までの具体的な改善計画

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ケアプランの目標に合った個々の短期目標や「～したい」が少しでも実現できるよう支援していく |
|---|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月6日（13：45～14：00）

3. 日常生活の支援

メンバー 原・森本・西尾と・笠川・帰山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	5人	人	人	2人	7人

前回の改善計画	・利用者の生活背景を理解し、現状をしっかりと受け止め、個々にあった支援をしていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者、家族と話をし、情報を得て職員間で共有している。個々の支援を提供はできているが本当はどうしたらいいのかわからない時がある。同じ事をしていいのかなど。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2	3		2	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5			2	7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	1		2	7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5		2		7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5		1	1	7

できている点

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・送迎時、家族に自宅での様子を聞いて職員間で情報を共有し、利用者の変化や体調に合わせて支援できています。・自分の思いや体調を言葉に出して伝える事が難しくなっている利用者に対しても家族からの伝達や連絡ノートで共有し、受診の声かけやきらめきで様子を見る事ができています。・利用者と家族との会話を情報として共有し日々の変化に気がつくようにしている。・入浴時など体調や気持ちの変化などに気づきミーティングで伝え共有でき、どのように対応、支援していくかを話し合っています。 |
|--|

できていない点

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・生活背景を知らなさすぎる。(新介護員) 一人ずつ、また少しずつ深めていきたい。・「以前の暮らし方」を忘れてしまっている利用者が増えてきている。認知症の進行、本人以外に話を聞く身寄りが誰もいないケースがある。・利用者の生活背景などまだまだ理解できていません。(新介護員)・本当はどうしたいのかわからない時がある。言葉がうまく聞き取れない方や認知症で会話がスムーズにできない方がいます。・全ての利用者の思いを受け取れていない。耳が遠いことや理解しにくい方がいらしてうまく意思疎通がいかないから。 |
|--|

次回までの具体的な改善計画

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・日常生活が安定して送れるよう、以前の暮らし方を少しでも把握し生活環境にとりいれて支援していく |
|---|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月10日(13:30~13:45)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 東野・原・西尾と・笠川・宮垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	1人	人	2人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 担当利用者が安心して生活が送れるように必要な地域の資源や関わっている民生委員、近所の方などを確認しどのような支援を受けているか共有することで全利用者のことが分かるようになる
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 担当利用者の軒下マップの記入はできているが活用はされていない。地域の資源や民生委員、地区社協など知っている職員と知らない職員がいる。(ケアマネ、運営推進会議や地区行事に参加している職員は知っている。)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	2		2	7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	2		2	7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	1		2	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4	1		2	7

できている点

- ・利用者がどのように過ごしているかを職員間で共有し変化があったら記録をしている。
- ・入浴時など個別に対応する時に昔どこに住んでいたか、どんな仕事をしていたかなど色々会話をするようにしています。
- ・地域の方、近所へのあいさつは心掛けています。(新介護員)
- ・独居又はサ高住にお住まいに方がおおくなっているが、民生委員、地区社協、直系ではない親族の協力を得ている。
- ・送迎時や連絡帳などを利用し家族と連携して情報を把握している。
- ・地域の資源を利用して支援している。

できていない点

- ・利用者の担当の民生委員がわかっていない。利用者を支えている家族や親戚がいたりして民生委員との関わりをわかっていないから。
- ・訪問時、どこへ行ったのかわからない時がある。自由に行動できる人が近所の知人宅や知人に誘われて出かけることがある。
- ・地域資源の事や民生委員とのつながりがまだできていない。(新介護員)
- ・コロナ禍の状況で家族と過ごしている利用者は地区の行事などには参加できていない。身体的、認知的の低下、介護者の高齢化、コロナの状況などにより地区行事への参加が減少してきている。
- ・地域の事を知らない。(新介護員) 会話だけではよくわからない。

次回までの具体的な改善計画

- ・利用者に関わる民生委員や地域の資源など軒下マップを活用して広げていく
- ・ケアプラン変更時には軒下マップを活用し情報を共有する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月20日（13:30～13:45）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 東野・帰山・笠川・西尾・森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人	2人	人	2人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源、社会資源の有効利用について学び、それぞれの利用者につながる地域資源、社会資源を把握し、その方々との交流を深め支援へとつなげていく（担当利用者の地域資源の把握） ・地域包括、社会福祉協議会など行政からも地域資源の情報を得ていく（ケアマネージャー）
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・資源をうまく利用するために軒下マップを作成している。 ・地域資源の情報はケアマネージャーから得て職員間に伝え共有できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	2		2	7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		5		2	7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	5	1	1		7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5		1	1	7

できている点

- ・利用者の状態に合わせ、家族やかかりつけ医、訪問看護などと連携し支援できている。
- ・新規利用者で包括、社協と連携を取りながら支援していくことが必要になっている。
- ・職員増員にて体制が整い宿泊が必要な利用者（家族）に提供ができるようになってきた。
- ・市のお弁当の利用、受診日と重なった時は振替で利用しています。
- ・個々の利用者に対してニーズに合わせて支援ができている。日々の関わりや訪問などから利用者の変化に気づき、ミーティングで共有している。

できていない点

- ・まだ周囲の状況を理解できていない。（新介護員）先輩方の姿を見習いたい
- ・職員不足のためニーズに応えられない部分があったが増員によって少しずつ解消されてきている。
- ・利用者全員の方がかならずしも地域資源を活用されているとはかぎらない。（家族がしっかりと介護しているから）小規模の迅速な行動力の方が勝ってしまっているから。
- ・地域資源（社会資源）などこれから学んでいきます。（新介護員）
- ・災害時には必要な時には宿泊対応をしているがその他の急な宿泊に関してはできない時がある。人員不足のため。
- ・全ての利用者（家族）のニーズには合わせられていない。特に独居の利用者に合わせる支援の一番良い解決がさだかでないため。

次回までの具体的な改善計画

- ・軒下マップを活用して地域資源、社会資源が利用できているか確認をする。また、どのような資源が必要なのかを話し合う。
- ・ニーズに合わせて柔軟な対応をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月21日（13：20～13：40）

6. 連携・協働

メンバー 東野・西尾と・原・宮垣・帰山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	5人	人	人	2人	7人

前回の改善計画	・現状を把握しコロナ感染対策をしっかりと行い、会議や行事など出来ることからはじめていく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議が再開できるようになった。 ・きらめき祭やきらめきサロンについてはまだ再開できていない。 ・生協本部や部門会議はリモートやZOOMで行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5			2	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5			2	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	5			2	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	4	2	7

できている点

- 地域の清掃活動、交流（サロン）に参加出来ている。
- ZOOM で会議日程し他拠点の職員と交流できている。
- 感染対策を考慮しながらハーツ便で買い物に来られた地域の方と交流できている。
- コロナ感染対策は常に意識している（新介護員）
- きらめき農園を始めたことで地域の方との交流ができている。

できていない点

- コロナ禍のため、地域の方に来ていただくきらめきサロンが再開できていない。
- その役を担っている職員が参加してくれている。（新介護員）経験を積む
- コロナ感染対策により施設関係者以外は入室禁止になっているため

次回までの具体的な改善計画

- コロナ禍でも現状を把握しながら本部の指示に従い感染対策をしっかりと行い会議や活動に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月28日（13：50～14：05）

7. 運営

メンバー 森本・原・西尾と・帰山・笠川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人	2人	人	2人	7人

前回の改善計画
・これからも現状をしっかりと把握し、きらめきで出来る事、積極的な地域への参加を継続していく
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者、家族、地域からの意見や苦情など、施設長、管理者、リーダーに報告し迅速な対応ができている。 ・地域の情報を地区の回覧板などで把握し参加できる活動には出向いている。 ・運営推進会議にてきらめきの状況報告ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	3	1	1	1	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	1		2	7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	4		2	7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		4	1	2	7

できている点

- ・運営推進会議がソーシャルディスタンス、感染対策を考慮しながら再開できた。
- ・職員皆、地域の方とも挨拶をして様子を気に掛け交わりができている。
- ・以前、「〇〇をして疲れた」と利用者の家族からお聞きして〇〇をやめたことがありました。工夫をしながらお声かけをして支援しています。
- ・小規模としての特性を生かして利用者のニーズに合わせた支援ができている。
- ・利用者家族からのご希望や意見などは出来るだけお応えできるよう支援につなげています。

できていない点

- ・見聞きしたことを伝えているだけになっている。(新介護員)先輩任せてになっている。
- ・コロナ禍で、出来るだけ取り組むが年 2 回行われる地区の消防訓練への参加をしたいが訓練自体が中止になっているためできていない。
- ・積極的に地域への参加をしていきたいです。(新介護員)
- ・地域の方からの意見や苦情を直接聞いていないのでわからない。地域の集まりに参加できていないから。

次回までの具体的な改善計画

- ・コロナ禍でも可能な限り地域への参加は継続する。
- ・意見や苦情に対しては迅速に対応する
- ・運営推進会議に代表以外の職員も参加して意見ができるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月30日（13：45～14：00）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 東野・森本・原・西尾と・帰山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	5人	1人	1人	2人	7人

前回の改善計画	・コロナ禍での研修受講や会議参加でお互いに情報を共有しながら向上しよりよい職場環境をつくる
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は ZOOM、リモートで全員参加出来ている。職場内研修も職場会議の時間を利用して出来ている。 ・同じ情報を共有することでコミュニケーションがとれている。 ・新型コロナウイルス感染についての情報を常に共有し対策について理解しながら実施出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	1	0	2	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	1	2	7
③	地域連絡会に参加していますか	2	2	1	2	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	0	0	2	7

できている点

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ ZOOM で研修に参加できている。・ 自施設以外で開催される研修、会議にも ZOOM で参加している。(ケアマネ)・ 事故発生再発防止の必須研修は受けている。(新介護員以外)・ コロナ禍にて ZOOM 研修となり参加しやすくなっている。 |
|---|

できていない点

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 研修に参加できていないが実地にて指導を受けている。(新介護員)・ スキルアップはあまりできなかった。(現在、外国人実習生受け入れ講習に参加中)・ 主にケアマネ関係の研修のため他職員への伝達はできていない。介護保険の加算要綱は伝えたが十分な理解ができたかどうかは確認できていない。(ケアマネ)・ 研修や会議等積極的に参加していきたいです。(新介護員) |
|---|

次回までの具体的な改善計画

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 多職種連携会議に参加するようにする。(他事業者や他職種の方との交流にて情報を共有する)・ 書籍や色々な外部からの情報を得て自施設全体の向上を図っていく。(法改正に伴い色々な研修ができたので受講するようにする)・ 介護福祉士の資格取得の職員が 1 名、介護職員初任者研修受講の職員が 1 名 (みんなでスキルアップしていきます) |
|---|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月31日（13：30～13：45）

9. 人権・プライバシー

メンバー 原・森本・笠川・西尾と・東野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	5人	1人	1人	2人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・制度に関する研修への参加（継続） ・虐待について、個人個人がしっかりと認識し、言葉がけや行動に責任を持った対応をしていく、また、お互いが気付き、注意し合える環境を作っていく（継続） ・高齢者虐待リスクアセスメントシートを活用していく
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束、虐待は行われていない、プライバシー厳守されている。 ・虐待研修は全職員が受講できている。（オンライン） ・高齢者虐待リスクアセスメントシートに関してはケアマネージャーが情報として記載し活用できているが他職員はあまりシートを確認できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	6	1			7
②	虐待は行われていない	7				7
③	プライバシーが守られている	7				7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	1	1		7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7				7

できている点

- ・高齢者虐待リスクアセスメントシートの記入、リスク有りの方は看護師と共有している。(ケアマネ)
- ・虐待研修を受け、改めてどのようなことがそうなのか確認できている。
- ・入浴介助時、身体に異常がないか観察している、言葉の暴力がないように気を付けています。(職員はストレスチェックを受けている。)

できていない点

- ・利用者の名前をついだしてしまうことがある。色々なことがプライバシーなのに介護事故などを心配のあまりふみこんでしまっている。
- ・制度に関することはこれから研修に参加し確認していきます。
- ・無意識に冗談を言うと虐待になる恐れがあるので注意していく。利用者になれてくると言葉遣いになれなれしくなってしまう。
- ・その都度教えてもらっているが、まだまだ習得できていない。施設としてきちんと出来ていると思う。(新介護員)

次回までの具体的な改善計画

- ・成年後見制度にあたいする利用者の思いと能力を感じとり包括や社協と連携していく
- ・制度を理解する(学習会を行う)
- ・担当利用者の高齢者虐待リスクアセスメントシートの必要性と内容の確認をする